imagination at work

取扱説明書

GE デジタルカメラ

スマートシリーズ： J1458W

JP

警告

火災や感電の原因となるため、本製品を雨や湿気にさらさないでください。

米国の顧客の場合

FCC基準に準拠

家庭または事務所で使用する場合

FCC声明

本製品は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。 操作は次の2つの条件に規制されます:

(1) 電波障害を起こさないこと、(2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

ヨーロッパの顧客の場合

「CE」マークは本製品が安全、健康、環境および顧客保護に関して欧州要件に準拠していることを示しています。「CE」マークの付いたカメラはヨーロッパでの販売を意図しています。

WEEE. [(コマ付きのごみ箱と×印WEEE補遺IV)]の記号は、EU諸国において電子、電気機器が分別収集されることを示しています。機器を家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。本製品の廃棄についてはお住いの自治体の条例に従ってください。

モデル名：J1458W

商標名：GE

責任団体：General Imaging Co.

住所：1411 W. 190th St., Suite 550, Gardena, CA 90248 USA

電話番号：+1-800-730-6597

(アメリカとカナダ以外の場合： +1-310-755-6857)

安全のための注意事項

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが高いと想定される内容を示しています。

⚠警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠ この記号は注意を促す内容を告げるものです。

🛇 この記号は禁止の行為を告げるものです。

カメラの取扱いについてのご注意

⚠警告

🛇 分解や改造しないこと

感電したり、けがをするおそれがあります。

🛇 落下などで破損し内部が露出したときは、露出部に手を触れない

感電したり、ケガをする原因となります。

🛇 水につけたり、水をかけたり、雨に濡らさないこと （防水カメラを除く）

火災、感電の原因となります。

⚠ カメラ内部に水や異物が浸入したときは、すぐに電源を切り電池とメモリーカードを取り出して、販売店或いはサービスステーションにご相談ください。

⚠ 煙が出る、異臭がするなどの異常が発生したときはすみやかに電池を取り出す

そのまま使用すると、やけどや火災の原因になります。

電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。

🛇 可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在する恐れのある場所では使用しない

引火、爆発の原因となります。

🛇 フラッシュを人の目（特に乳幼児）に近付けて発光しないこと

視力障害の原因となります。

⚠ 幼児の手の届かないところに保存すること

ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ や電池などの小さな付属品を誤って飲み込むと危険です。万一飲み込んだときはただちに医師の診断をうけること。

🛇 指定外の電源は使わない

火災や感電の原因となります。

⚠注意

🛇 ぬれた手でカメラを操作しない

感電の原因になることがあります。

⊘ 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

⚠ 長期間使用しないときは、電池を外して保管すること

電池の液もれにより、火災やケガの原因となることがあります。

⚠ 航空機内で使うときは、離着陸時の電源をOFFにすること

本機器が出す電磁波により、航空機の計器に影響を与えるおそれがあります。

⊘ 付属のCD－ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと

機器に損傷を与えたり、ヘッドフォンなどを使用したときは、大音響により聴力障害の原因となります。

電池についてのご注意

⚠危険

⚠ 使用中に本体が過熱するときは、すぐにカメラの電源を切り、電池を取り出してください。充電中に電池が過熱するときは、電源を切り、電池を取り出してください。

⊘ 電池を火の中に投下したり、加熱しないこと

液漏れ、破裂、火災の原因となります。

⊘ 電池をショート、分解しないこと

液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

⚠ 専用の充電器を使用すること

液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

⊘ 電池と金属製のネックレスやヘアピンを一緒に持ち運んだり、保管しない

ショート、発熱し、火傷やけがの原因となります。

⚠ 電池から漏れた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の診断をうけること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告

⊘ 水につけたり、端子部を濡らさない

液漏れ、発熱の原因となります。

⚠ 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する

液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

⊘ 外装にキズや破損のある電池は使用しない

破裂、発熱の原因となります。

⊘ 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない

破裂、液漏れの原因となります。

⚠ 電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠注意

⚠ 長期間使用しない場合は、カメラから電池を外しておく

液漏れ、発熱により、火災、ケガの原因となることがあります。

充電器についてのご注意

⚠警告

⊘ 充電器を分解したり、修理や改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

⊘ 落下などで破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。

⚠ 本体が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常時は速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

⚠ 電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布でふき取ること

そのまま使用すると火災の原因になります。

⊘ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因となります。

⊘ 海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）などの電源に接続して使わないこと発熱、故障、火災の原因となります。

⚠注意

⊘ 濡れた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。

⊘ 充電器を布などで覆った状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

⚠ お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う

電源プラグを抜かないで行うと、感電、ケガの原因となることがあります。

⊘ メモリーカードの取り出しは必ずカメラの電源をオフにしてからおこなってください。若しオンの状態で取り出すとメモリーカードを破損させる原因になります。

⊘ プログラム（F/W）をアップグレードする時は、カメラの電源をオフにさせないでください。不完全なデータや画像がこわれます。

⊘ メモリーカードの挿入は、よくカードスロットを見ながら慎重におこなってください。メモリーカードを乱暴に取り扱うことは禁止です。

使用前に

序章

GEデジタルカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。このマニュアルをしっかりお読みになり、今後のため、本書は安全な場所に保管してください。

著作権

商標

本書に記載されたブランド名または商品名はすべて識別目的でのみ使用され、それぞれの所有者の登録商標です。

安全に関する情報

カメラに関するご注意

- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わると、カメラ内部に結露が生じることがあります。カメラの電源を入れる前にしばらくお待ちになることをお勧めします。
- 寒冷地域では、電池の性能が低下し、使用できる時間も大幅に短くなります。
- 電池やメモリーカードの取り付けや取り外しの前に、カメラの電源をオフにしてください。
- カメラの清掃に、研磨剤入り洗剤、アルコールベース、または溶剤ベースの洗浄剤を使用しないでください。カメラは軽く湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。
- 結婚式や海外旅行など大切な撮影の前には必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。
- カメラまたはメディアの機能不良により記録した写真を再生できない場合、記録した写真の損失や撮影に要した諸費用及び利益損失等に関する損害などの賠償は致しません。

- カメラ内部に水や異物が浸入したときは、すぐに電源を切り電池とメモリーカードを取り出して、販売店或いはサービスステーションにご相談ください。
- レンズをさわらないでください。
- カメラが、低温環境から高温環境に変わるとき、結露の生ずることを避けるため、カメラをすこし寒いエリアでしばらく置いてから、室温環境まで徐々に移してください。
- カメラを凹凸のはげしい場所に置かないでください。

メモリーカードに関するご注意

- 新しいメモリーカードを使用するとき、またはメモリーカードがPCで初期化された場合、ご使用の前にお使いのデジタルカメラでメモリーカードを必ずフォーマットしてください。
- 画像データを編集するには、画像データをPCのハードディスクにコピーし、その後ファームウエアをアップグレードする場合はメモリーカードをフォーマットしてください。
- PCでメモリーカードのディレクトリ名、またはファイル名を変更または削除しないでください。カメラでカードが使用できなくなる原因となります。

本マニュアルについて

本マニュアルには、GEデジタルカメラの使用法に関する取扱説明が記載されています。本マニュアルの内容は正確を期してあらゆる努力が払われていますが、General Imaging Companyでは内容を予告なしに変更する事があります。

本マニュアルで使用される記号

情報を素早く簡単に探せるように、本マニュアルを通して次の記号が使用されています。

 知っていると役に立つ情報を示します。

 カメラを操作している間に取るべき注意事項を示します。

目次

##

準備をする

付属品一覧

パッケージにはご購入されたカメラ、および次の付属品が含まれています。付属品が足りない場合や破損している場合は、販売店にご連絡ください。

保証書

CD-ROM (Optional)

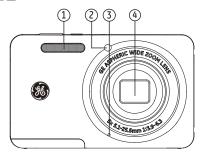
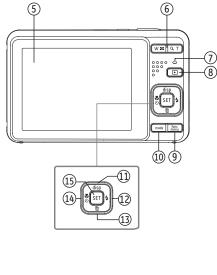
リストストラップ

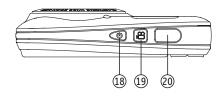
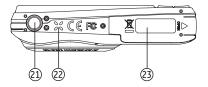
USBケーブル

充電式リチウムイオン電池

AC アダプター

カメラの外観

正面図

背面図

左側面図

上面図

底面図

右側面図

1	フラッシュ	13	消去/機能ボタン下
2	AFアシストビーム/タイマーインジケーター	14	マクロ/セルフタイマーボタン/左 ボタン
3	マイク	15	SET ボタン
4	レンズ（バリア）	16	USB/ AV端子
5	液晶モニター	17	ストラップ取付部
6	ズームボタン	18	電源ボタン
7	電源ランプ	19	動画ボタン
8	再生ボタン	20	シャッターボタン
9	メニューボタン	21	三脚ねじ穴
10	modeボタン	22	スピーカー
11	disp./機能ボタン上	23	メモリーカード/電池収納部
12	フラッシュモード/機能ボタン右		

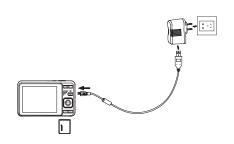
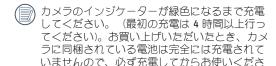
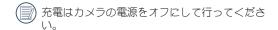
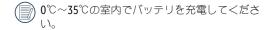
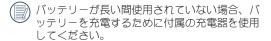
電池を充電する

1. 電池を装着する前にカメラの電源をオフにしてください。
2. USBケーブルでカメラとACアダプタを接続します。
3. アダプタをコンセントに差し込みます。（仕向地により、アダプタが違います。付属の専用アダプタを使用してください）。

カメラのインジケーターが緑色になるまで充電してください。（最初の充電は 4 時間以上行ってください)。お買い上げいただいたとき、カメラに同梱されている電池は完全には充電されていませんので、必ず充電してからお使いください。

充電はカメラの電源をオフにして行ってください。

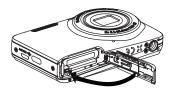
0℃～35℃の室内でバッテリを充電してください。

バッテリーが長い間使用されていない場合、バッテリーを充電するために付属の充電器を使用してください。

電池と、オプションのSD/SDHCメモリーカードを挿入する

1. 電池カバーを矢印方向にスライドさせて開きます。

2. 電池のプラスとマイナスを確認しながら、電池を挿入します。図に示すように、電池の側面を使用してストッパーを押し下げ、電池を正しく挿入します。

3. 図に示すように、SD/SDHC カードをメモリーカードスロットに挿入します。

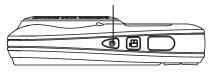
4. 電池カバーを閉じます。

電池は長時間撮影すると温度が上がることがあります。電池を取り出す際はご注意ください。

SD/SDHC カードは別売です。信頼できるデータ保存のためには、SanDisk、Panasonic および Toshiba などの推奨された製造元の、64MB～32 GB のメモリーカードの使用をお勧めします。

SD/SDHC カードを取り外すには、電池カバーを開き、カードを一度奥に向かって押し込んでそのままゆっくり戻します。カードを慎重に引き出します。

SDカードには、30,000以上の写真を保存できます。

電源をオン/オフに切り換える

カメラの電源ボタンを押して、オンにします。カメラの電源をオフにするには、電源ボタンをもう一度押します。

カメラの電源を入れると、最後に使用した時と同じ撮影モードになっています。mode ボタンを押して、撮影モードを選択することができます。

日時と言語の設定

初めてこのカメラを使用する時、まずセットアップメニューで言語と日時を設定してください。

「一般的なセットアップ」を表示させるには、次の手順でおこないます。

1. カメラの電源をオンにします。
2. (func menu) ボタンを押し、上/下ボタンで設定メニューを選択し、SET ボタンを押します。

言語設定

1. 設定メニューで、上/下ボタンを押して言語を選択し、SET ボタンか右ボタンを押してください。

2. 機能ボタン上/下/左/右を押して、言語を設定します。
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

日時設定

1. 設定メニューで、上/下ボタンを押して日/時刻を選択し、SET ボタンか右ボタンを押してください。
2. 日付の表示モードを選択するには上/下ボタンを押し、右ボタンで変更する年月日を選択します。上/下ボタンで値を合わせます。
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

液晶モニターに関するご注意

カメラをオンにすると、液晶モニターにさまざまなアイコンが表示され、現在のカメラ設定とステータスを示します。表示されたアイコンの詳細については、18ページの「液晶モニター画面表示」を参照してください。

液晶モニターに関するご注意:

液晶モニターの製造に当たっては、ほとんどのピクセルが操作するように、きわめて高い精度のテクノロジが使用されています。しかし、液晶モニターにいくつかのきわめて小さな点（黒、白、赤、青または緑)が常時表示される場合があります。これらの点は製造プロセスでは通常のことであり、記録された写真に影響を与えることはありません。

液晶モニターが水で濡れることを避けてください。濡れてしまった時は、清潔な、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。

液晶モニターが損傷した場合、モニターの液晶には特別な注意を払ってください。次の状況が発生した場合、直ちに以下の措置を取ってください。

- 中の液晶が皮膚に触れた場合、布で拭き取り石鹸と流水でよく洗ってください。
- 液晶が目に入ったら、きれいな水でその目を15分以上洗い、医師の診察を受けてください。
- 液晶を飲み込んだ場合、口を水でよくすすぎ、ただちに医師の診察を受けてください。

画面の切り替え表示

disp ボタンを押して、画面の表示内容を変更することができます。

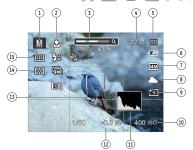
機能の情報表示

グリッドガイドとヒストグラムの表示

情報表示

液晶モニター画面表示

静止画撮影モード表示

撮影モードアイコン：

1 撮影モードアイコン（自動モード）

- 手動モード
- 自動モード
- ブレ軽減モード
- ポートレート
- パノラマモード
- シーンモード

2 マクロモード表示

3 ズームインジケーター

4 撮影可能枚数

5 メモリーカード/内蔵メモリー表示

6 電池残量表示

7 静止画画像サイズ

8 ホワイトバランス（ モードでのみ使用可能）

9 色彩（ モードでのみ使用可能）

10 ISO感度（ モードでのみ使用可能）

11 ヒストグラム

12 露出補正（M モードでのみ使用可能）

13 AFフレーム

14 測光方式

AiAE

スポット

マルチ

15 AFモード

シングル AF

マルチ AF

16 セルフタイマー表示

2秒

10秒

スマイル

17 フラッシュモード表示

発光禁止

自動発光

強制発光

スローシンクロ

スローシンクロ+赤目軽減

赤目軽減

18 連写

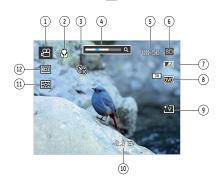
一枚撮り

連写

3Xショット

インターバル撮影 (30秒 / 1分 / 5分 / 10分)

動画撮影モード表示

撮影モードアイコン:

1 撮影モードアイコン

2 マクロモード表示

3 セルフタイマー表示

 10秒

4 ズームインジケーター

5 撮影可能時間

6 メモリーカード/内蔵メモリー表示

7 電池残量表示

8 動画画像サイズ

9 色彩

10 露出補正

11 測光方式

AiAE

スポット

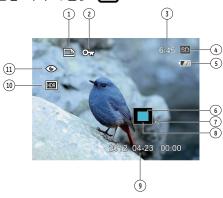
マルチ

12 AFモード

動画の撮影には、最高の画質を得るためにClass 4 以上のSDカードの使用をお勧めします。カメラの内蔵メモリーには制限があり、時々画像が途切れてノイズが発生し、画質の低下を招きます。

光学ズームとデジタルズームを調整することができます。デジタルズームは6倍（合わせて30倍）に調整できます。

再生モード表示

再生モードアイコン: ▶

1 DPOF 印刷

2 保護

3 画像番号/総画像数

4 メモリーカード/内蔵メモリー表示

5 電池残量表示

6 画面位置表示（案内マーク）

7 画像の倍率

8 縮小液晶モニター

9 撮影日時

10 HDR

11 赤目軽減

画面の切り替え表示

disp.ボタンを押して、画面の表示内容を変更することができます。

再生モード ▶

再生モードのときにdisp.ボタンを押して、3種類の画面表示に切り換ります。

機能の情報表示　詳細の情報表示　情報表示なし

モードボタンの使用

GE カメラでは撮影シーンに応じて簡単に切り換えることができるモードボタンが付いています。使用可能なモードについては、下記の一覧で説明します。

モード名	アイコン	説明
手動モード		このモードに切り換えると、手動でカメラの設定を選択して静止画を撮影できます
自動モード		このモードでは誰にでも簡単に静止画を撮影することができます
ブレ軽減モード		手ぶれによるボケを軽減します
ポートレート		顔用のAE/AFにより、ポートレート撮影に最適です
動画モード		このモードに切り換えると、動画撮影ができます
パノラマモード		このモードに切り換えると、連続撮影した画像をつなぎ合わせて1枚のパノラマ写真にします
シーンモード	SCN	21 種類のシーンモードから選択して、自動的に最適な設定で静止画の撮影ができます

手動モード M

撮影目的に合わせて露出補正とISO感度を設定できます。組み合わせにより、撮影範囲、条件などを広げたいときに使用します。

1. カメラの電源ボタンを押します。
2. 手動モードを選択するには **mode** ボタンを押して **M** を選択して **SET** ボタンを押します。

3. 再度 **SET** ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、露出補正の調整ができます。
4. 機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、ISO感度の調整ができます。
5. **SET** ボタンを押して、設定を確定します。

ブレ軽減モード

ブレ軽減モードは、低輝度またはシャッタースピードが低速のときに発生する手ブレの影響を軽減します。

ブレ軽減モードは暗い場所、またはスローシャッタースピードで撮影するときにお勧めします。

風の強い場所や不安定な場所（動いている乗り物の中など）で撮影すると、ブレが生じることがあります。

ポートレート

このモードは、人物の撮影にもっとも適しています。人物の肌色、やわらかさを自然に表現できます。

モードボタンを押して、を選択して **SET** ボタンを押します。

パノラマでパニング撮影

パノラマモードでは、パノラマ写真を作成します。カメラは撮影した個々の画像で、パノラマ写真を自動的に構成します。

パノラマモードで撮影するには、次の手順でおこないます。

1. パノラマモードを選択するにはを **mode** ボタンを押し、機能ボタン左右を押して、 を選択し、**SET** ボタンを押します。画面には、次のアイコンが表示されます。

   ・

2. 機能ボタン左/右を押して、カメラを動かす方向を選択します。方向を選択しないで 2秒経過すると、自動的に初期設定と同様に左から右方向の撮影に設定されます。
3. 液晶モニターで構図を決めてから、シャッターボタンを押し最初の一枚を撮影します。撮影が終了すると画面には、半透明画像が画面の端に表示されます。端を重ねることで二枚目が撮影されます。この手順を繰り返して撮影します。
4. 3枚の撮影が終了すると、カメラは自動的に一枚ずつの画像をパノラマに合成させます。

5. 写した画像が4枚以下の場合、**SET** ボタンを押すと自動的に連続写真になります。再生ボタンを押して効果を確認することができます。
6. 写真を4枚撮影した場合、カメラが自動的に継ぎ合わせます。再生ボタンで効果を確認することができます。

パノラマ写真撮影中に **SET** ボタンを押して、画像を保存し、撮影を終了します。消去/機能ボタン下を押して、保存せずに撮影を終了することもできます。

パノラマモードで、画像サイズが3Mに設定されている場合、最大4枚の写真を撮影することができます。

シーンモード(SCN)

シーンモードでは、状況に合わせて合計21種類のシーンから選択できます。場面に適したシーンを選択するだけで、最適な撮影ができます。

1. シーンモードを選択するには、**mode** ボタンを押します
2. 機能ボタン左右を押して、シーンモード（**SCN**）を選択し、**SET** ボタンを押します。

3. 機能ボタン左/右を押して、撮影に適切なシーンモードを選択します。**SET** ボタンを押して、設定を確定します。

モード名	説明
ASCN 自動シーンモード（ASCN）	自動的にシーンを識別し、人物、逆光の人物、風景、マクロ、夜景、夜景と人物などに適した撮影をします。
風景	風景の撮影では、緑色と青色が鮮やかに表現できます。
スポーツ	動きの速い被写体をぶれずに撮影できます。
ビーチ	日差しの強い浜辺で明るく鮮やかな写真が撮影できます。
夕日	夕日を撮影する際、赤色と黄色が鮮やかに表現できます。
花火	夜景や花火の撮影には、シャッター速度を遅くして鮮やかな画像を再現します。（三脚の使用を推奨します）
夜景	夜景を撮影します。（三脚の使用を推奨します）
雪	雪景色を撮影する際、見たままの白を表現します。
子供	障害を避けるため、自動的にフラッシュの発光を禁止します。子供の写真を撮るのに適しています。
IDカード	証明写真を撮るときに輪郭を鮮やかに写します。（6インチ×4インチ=10.2cm×15.2cm）の印画紙を用いて印刷することをお勧めします。
ガラス越し	透明なガラスの背後の被写体を撮影します。
フォトフレーム	感動と楽しさを伝えることができます。

モード名	説明
流し撮り	被写体のスピード感をとらえ、背景は流れるように撮影します。
資料	白地の印刷物などの文字を鮮明に写します。
魚眼	魚眼効果を強調した面白い写真が写せます。
パーティー	室内のパーティー会場などで、複雑な照明のもとで人物像を自然に撮ることができます。
室内	室内撮影用です。背景や周辺を鮮明にします。
植物	植物を撮影する際、緑が鮮やかに表現できます。
博物館	博物館やフラッシュが禁止されている場所でも明るく写ります。
夜景ポートレート	人物の顔は明るく、夜景もキレイに写します。
スケッチ	鉛筆で滑らかに描いたような写真が撮れます。

自動シーンモード（ASCN）

ASCN モードでは、カメラがさまざまな撮影条件に合ったシーンを自動的に認識して、最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせを決めシャープで鮮やかな画像を撮影します。

アイコン	モード名	アイコン	モード名
	風景		夜景
	ポートレート		マクロ
	夜景ポートレート		自動
	逆光のポートレート		

1. 自動モードで、**mode**ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、シーンモード（SCN）を選択して、SET ボタンを押します。
2. 機能ボタン上/下を押して、ASCNアイコンを選択して、SET ボタンを押します。

3. カメラを被写体に向けると撮影シーンを自動的に判別して、最適なモードを選択します。
4. シャッターボタンを軽く半押しして、被写体の中央にピントを合わせます。
5. シャッターボタンを静かに全押しして、画像を撮影します。

「ASCN」モードでは、カメラが0.5秒ごとに自動的に撮影シーンを判別して、最適なシーンで撮影ができます。

モード名	説明
風景	風景写真の場合、ASCNは背景に一致するように露出を自動的に調整します。
ポートレート	人物撮影の場合、ASCNは人物の肌を美しく自然に仕上げ、適切な露出で撮影します。
夜景ポートレート	夜間や暗い条件下で人物を撮影するとき、ASCN は人物と背景の明るさを最適に自動調整します。
逆光のポートレート	太陽またはその他の光源が被写体の背景にある場合、ASCN は前景の露出を自動的に調整して人物が暗くならないように撮影します。
夜景	夜景の場合、ASCNはISO値を自動的に上げて、手ブレを押さえて夜景をきれいに撮影します。
マクロ	小さな被写体をアップで撮影できるように ASCN は自動的にピントを合わせます。
自動	被写体の明るさに応じて最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせをカメラが自動的に決めます。

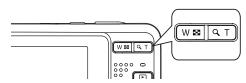
自動モードでの撮影

自動モードは、撮影に使用するもっとも簡単なモードです。このモードで操作している間、カメラは画像を自動的に最適化します。

自動モードで撮影するには、次の手順でおこないます。

1. カメラの電源ボタンを押します。
2. 自動モードを選択するには mode ボタンを押して（ ）を選択して SET ボタンを押します。
3. 液晶モニターで被写体の構図を決めます。シャッターボタンを半押し（軽く押す）して、被写体にピントを合わせます。
4. 被写体に焦点が合うと、液晶モニターの中央部に緑色のAFフレームが表示されます。
5. シャッターボタンを静かに全押しして、画像を撮影します。

ズーム機能を使用する

カメラには、光学ズームとデジタルズームの 2種類のタイプのズームが装備されています。カメラ背面部のズームボタンを押して、被写体を拡大させたり、縮小させたりして撮影することができます。

ズームインジケーター（47ページのデジタルズームを参照してください）

光学ズームが最大値に達すると停止します。一旦ズームボタンから指を離し、再度同じ方向に（ T） 押すと、自動的にデジタルズームに切り替わります。ズームインジケーターの表示位置でズーム位置を判断してください。

基本機能メニュー

カメラの基本機能メニューには、フラッシュモード、セルフタイマーモード、マクロモード、および露出補正があります。適切な機能設定により、より良い画像を撮影することができます。

基本機能メニューの設定は、次の手順で行ないます。

フラッシュモード

1. 機能ボタン右を押して、フラッシュ機能メニューが表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、6種類のメニューから選択することができます。

- 発光禁止
  あらゆる条件下でフラッシュは発光しません。
- 自動発光
  カメラは、逆光および明るさに基づいてフラッシュを自動的に制御します。
- 強制発光
  すべての条件下で発光します。逆光で撮影するときに適しています。
- スローシンクロ
  夜景を背景に人物撮影するときに適しています。シャッタースピードを遅くして背景をきれいに写します。
- スローシンクロ+赤目軽減
  スローシンクロ撮影時に人物の赤目現象を軽減できます。
- 赤目軽減
  予備発光を行い、目が赤く写る現象を軽減します。

3. .機能ボタン左/右を押して、機能を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

「」を現す場合、フラッシュがただ今充電中と表示する。

セルフタイマーモード

自分も一緒に写りたい時やシャッターボタンを押す時の手ぶれを軽減したいときはセルフタイマーが便利です。タイマー時間は2秒、10 秒、笑顔モードから選べます。三脚の使用をおすすめします。

1. 機能ボタン左を押して、セルフタイマー機能メニューが表示されます。

2. 機能ボタン上/下/左/右を押して、4種類のメニューから選択することができます。

- セルフタイマー：オフ
  セルフタイマー機能をオフにします。

- セルフタイマー：2秒
  シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーが作動して、2秒後にシャッターが切れて、撮影が終了します。

- セルフタイマー：10秒
  シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーが作動して、10秒後にシャッターが切れて、撮影が終了します。

- セルフタイマー：スマイル
  笑顔を検出するとシャッターが切れます。

3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

マクロモード

マクロモードでは被写体に近づいて大きく、細部を撮影することができます。

1. 機能ボタン左を押して、マクロモード機能メニューが表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、2種類のメニューから選択することができます：
   - マクロ：オフ
     マクロ機能をオフにします。
   - マクロ：オン
     マクロモードオンの設定により、レンズ前約5cmまでの被写体にピントを合わせることができます。
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

露出補正

画像の明るさを調整できます。被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が極めて大きい場合に、適正の明るさになるように調整します。（露出補正の設定はカメラが、手動モードと動画モードに入っているときのみ使用できます)。

1. SET ボタンを押して、露出補正画面が表示されます。

2. 機能ボタン上/下を押して、露出値を変更することができます。露出値の調整可能範囲は-2.0EVから+2.0EVまでです。
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

ISO感度

ISO感度の変更は、被写体の明るさに応じて設定します。暗い環境での撮影には、ISO値を高くする必要があります。これとは反対に、明るい環境ではISO値を低くする必要があります。(ISO感度の設定はカメラが M モードに入っているときのみ使用できます)。

ISO感度が高くなるにつれ電気的なノイズが増えて画像が粗くなります。

1. SET ボタンを押して、ISO感度画面が表示されます。
2. 機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、ISO感度を変更することができます。
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

ISO感度は自動、64、100、200、400、800、1600から選択することができます。

バルブシャッター

シャッターのBモードでは、露光時間を変更することができます。(M モードでのみ使用可能)

- 露出時間を設定するには、サブメニューで機能ボタン上/下を押して、2秒～30秒間の範囲で調整ができます。

長時間露光撮影の場合には、三脚の使用をお勧めします。

露出時間の設定は撮影ごとにオフに戻ります。再度必要のときは調整してください。

静止画と動画を見る

撮影された静止画や動画を液晶モニターに表示するには、次の手順で行ないます。

1. 撮影モードの状態で、再生ボタンを押すと再生モードに切り替わります。画面には最後に撮影した静止画及び動画が表示されます。
2. 機能ボタン左/右を押して、メモリーカードまたは内蔵メモリーに保存された画像を選択して表示します。
3. 選択された動画を再生するには、SET ボタンを押して動画再生モードに入ります。

動画再生中は、画面に操作ガイドが表示されます。機能ボタン左/右と SET ボタンを押して、操作機能の変更ができます。

下記に操作機能を表示してあります。

1	音量を上げる	4	音量を下げる
2	一時停止	5	巻戻し
3	早送り		

動画を再生する時、機能ボタン上/下を押して、再生音量を調整し、消音になるとき、 が表示されます。

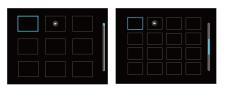
下記に操作機能を表示してあります。

1.音量を上げる

2.音量を下げる

サムネイルビュー

再生モードで（W）ズームボタンを押すと、液晶モニターに静止画と動画のサムネイル画像が表示されます。

1. （W）ズームボタンを押すと、3x3（9コマ）のサムネイル画像が表示されます。さらに押すと、4x4（16コマ）のサムネイル画像が表示されます。
2. 機能ボタン上/下、左/右を押して、静止画または動画を選択することができます。SET ボタンを押すと、再生画面に戻ることができます。

液この文章は、35Pへ移動して下さい。w

画像を拡大する（静止画専用）

ズームボタンは再生中にも使用できます。画像を8Xまで拡大することが可能です。

1. ボタンを押して、再生モードに切り換えます。
2. 機能ボタン左/右を押して、拡大する静止画を選択します。
3. ズームボタンT側を押して、画像を拡大すると、液晶モニター右上に倍率（2.0X）が表示されます。また画面右下に、画像全体のどの部分を表示しているかを示す画面位置表示（案内マーク、青色口）が表示されます。機能ボタン左/右、上/下を押して、お好みの場所を見ることができます。

動画は拡大できません。

画像を消去する方法

再生モードで、消去機能ボタン上を押して、静止画と動画を消去することができます。

静止画または動画の消去：

1. [▶] ボタンを押して、再生モードに切り換えます。
2. 機能ボタン左/右を押して、消去する静止画または動画を選択します。
3. 消去機能ボタン上を押して、消去画面が表示されます。

4. 機能ボタン上/下を押して、「1枚消去」または「戻る」を選択し、 **SET** ボタンを押して、設定を確定します。

消去された静止画/動画は回復することができません。

1回の操作ですべての静止画/動画を消去するには、53ページのすべて消去機能を参照してください。

静止画メニュー

撮影モードアイコン：

撮影モードで func menu ボタンを押すと、セットアップメニューが表示されます。

各種設定の手順：

1. 機能ボタン上/下を押して、変更する機能オプションを選択します。
2. 機能ボタン左/右を押して、メニューを選択します。
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

変更する機能オプションを選択するとき、機能ボタン上/下を押し続けると、各セットアップメニューに素早く切り換えることができます。

測光方式

この設定により、明るさを測定する範囲を選択します。

3種類のメニューから選択することができます。

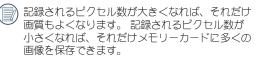
- AiAE
- スポット
- マルチ

画像サイズの設定

サイズ設定は、ピクセルで画像解像度を設定します。画像解像度を高くすれば、画像品質を低下させずに大きなサイズで画像を印刷できます。

8種類のメニューから選択することができます。

「14M 高品質印刷」、
「12M フルサイズ印刷」、
「10M 16：9表示」、
「8M A3印刷」、「5M A4印刷」、
「3M 10cm×15cm印刷」、
「2M 10cm×15cm印刷」「0.3M 電子メール」

記録されるピクセル数が大きくなれば、それだけ画質もよくなります。 記録されるピクセル数が小さくなれば、それだけメモリーカードに多くの画像を保存できます。

AFモード

被写体を撮影している間、この設定を使用して自動フォーカスメカニズムを制御します。

2種類のメニューから選択することができます:

- コンティニュアスAF：オフ
- コンティニュアスAF：オン

連写

この設定により、連写（連続撮影）を行います。シャッターボタンを全押ししている間、連写を行います。

1. 7種類のメニューから選択することができます:

- 連写: オン
  1コマのみを記録します。
- 連写: オン
  連続撮影方式。
- 連写: 3Xショット
- インターバル撮影 30秒
- インターバル撮影 1分
- インターバル撮影 5分
- インターバル撮影 10分

2. SET ボタンを押して、設定を確定します。

 連写を設定してある時は、フラッシュは機能しません。

AFモード

被写体を撮影している間、この設定を使用して自動フォーカスメカニズムを制御します。

2種類のメニューから選択することができます:

- シングル AF
  AFフレームが液晶モニターの中央に表示されると、被写体に焦点が合います。

- マルチ AF
  カメラは焦点を見つけるために、広い領域で被写体に自動的に焦点を合わせます。

ホワイトバランス

1. ホワイトバランスでは、色合いを正確に再現できるように、さまざまな光源の下の色温度などを調整します。

2. 7種類のメニューから選択することができます。

- 自動
- 晴天
- 曇天
- 蛍光灯
- 蛍光灯 CWF
- 白熱電球
- 手動

3. 手動を選択すると画面に、「WB調整する」と表示されます。シャッターボタンを全押しすると、自動的にホワイトバランスを調整します。SET ボタンを押して、設定を確定します。

色彩は M 手動モードのみ変更ができます。

色彩

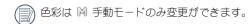
色彩を変えることにより、画像にアート効果が追加されます。さまざまな色の組み合わせを試みて、画像の雰囲気を変えることができます。

1. 機能メニューに入るには SET ボタンを押します。

2. 画像のイメージカラー設定をするには、左/右ボタンを押してください。

4種類のメニューから選択することができます:

- 普通
- 鮮明
- セピア
- 白黒

色彩は M 手動モードのみ変更ができます。

設定メニュー

撮影モードアイコン：M

設定メニューを表示するには、func menu ボタンを押します。

1. 撮影メニューを切り替えるには上/下ボタンを押してください。

2. SET ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
3. SET ボタンを押して、サブメニューが表示されます。
4. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
5. SET ボタンを押して、設定を確定します。

画質の設定

画質設定メニューによって画像の圧縮比を調整することができます。高画質に設定するほど優れた画像が得られますが、より多くの記録スペースを使います。

3種類のメニューから選択することができます。

•精細

•標準

•普通

AFアシストビーム

この設定により、暗所でも焦点を合わせることができます。オンを選択するとAFアシストビームがオンになり、オフを選択するとこの機能が無効になります。

AFアシストビームがオンになっているとき、シャッターボタンを半押しすると、カメラは被写体にAFビームを投射してピントを合わせ易くします。

デジタルズーム

この設定により、デジタルズーム機能のオン/オフを切り換えることができます。デジタルズームがオフになっているとき、光学ズームのみが使用できます。

日付写し込み

撮影と同時に日付と時間を画像に写し込みます。

- オフ
- 日付
- 日付/時刻

レビュー

この設定により、直前に撮影した画像を見ることができます。画像が画面に表示されている時間を変更することができます。

4種類のメニューから選択することができます。

- オフ
- 1秒
- 2秒
- 3秒

動画モードアイコン：

動画モードを表示するには、mode ボタンを押し、機能ボタン左右を押して、 を選択し、SET ボタンを押します。

1. メニューを表示するには、func menu ボタンを押します。

2. 機能ボタン左右を押して、画像サイズのメニューを選択します。
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

測光方式

この設定により、明るさを測定する範囲を選択します。

3種類のメニューから選択することができます。

- AiAE
- スポット
- マルチ

画像サイズの設定

サイズの設定により、画像の解像度が変わります。

高画質の画像記録に必要なSDカードのクラス：

No.	画像サイズ	駒/秒	必要最小クラス	推奨
1	1280x720	30	Class 2	Class 4

1280x720 30fps以上のサイズの録画時間は最長29分です。

画像の色設定

画像の色の設定では、異なった色効果を選択することができます。

1. 機能メニューに入るには SET ボタンを押します。

2. 画像のイメージカラー設定をするには、左/右ボタンを押してください。

画像の色設定のにはは、次の4つがあります:

- ノーマル
- ビビッド
- セピア
- 白黒

まばたき検出

まばたき検出機能は、工場出荷時にオンに設定されています。画像を撮影した後、まばたきが検出されると、まばたき検出アイコン が液晶モニターに表示されます。

再生メニュー

再生モードアイコン: ▶

再生モードで func menu ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。

1. 再生メニューを切り替えるには、上/下ボタンを押してください。
2. SET ボタンあるいは機能ボタン右を押します。

保護

静止画や動画が誤って消去されないように、この設定を使用して一枚またはすべてのファイルを保護することができます。

静止画または動画を保護/保護解除するには、次の手順でおこないます。

1. 機能ボタン上/下を押して、保護を選択し、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。
2. 機能ボタン上/下を押して、3種類のメニューから選択することができます。
   - 一枚撮り
   - すべて
   - リセット

3. 一枚撮りを選択し、SET ボタンを押すと、「保護一枚撮り」と「戻る」が表示されます。機能ボタン上/下を押して、「保護一枚撮り」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。
4. 「戻る」を選択し、SET ボタンを押すと再生セットアップメニューが表示されます。
5. 画面上部に保護アイコン が表示されると、静止画/動画が保護されていることを示します。
6. すべてを選択すると、「すべて保護」と「戻る」が表示されます。「すべて保護」を選択すると、すべて保護されます。
7. 「リセット」を選択すると、保護モードに指定されたすべての画像の保護を解除します。

消去

2種類の消去メニューがあります。

⚠ 消去されたファイルは回復できません。

- 一枚撮り消去:

1. 再生セットアップ項目の詳細手順は保護と同様におこなってください。
2. 一枚撮りを選択してから SET ボタンを押します。
3. 機能ボタン左/右を押して、消去する静止画または動画を選択します。機能ボタン上/下を押して、（画像を消去する場合は）「1枚削除」を、（前のメニューに戻る場合は）「戻る」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

- すべて消去:

1. すべてを選択してから SET ボタンを押します。
2. 機能ボタン上/下を押して、（すべての画像を消去する場合は）「すべて消去」を、（前のメニューに戻る場合は）「戻る」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

保護アイコン が表示されている画像は保護されています。画像を消去する前に、保護を解除してください。

画像を消去すると、DPOF設定はリセットされます。

DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）

DPOFにより印刷するために選択した静止画を記録し、それをメモリーカードに保存することにより、メモリーカードをプリントショップに手渡すだけで済み、どの画像を印刷するかを指摘する必要はありません。

3種類のメニューから選択することができます。

- 一枚撮り：プリント予約（画像、枚数、日付等）をする画像を一枚づつ選択します。
- すべて：すべての画像をプリント予約します。
- リセット：プリント予約を解除します。

画像のトリミング

トリミング機能により、撮影した画像の不要な部分を切り取ります。トリミングした画像は別の画像として保存されます。

画像をトリミングするには、次の手順でおこないます。

1. セットアップメニューからトリミングを選択します。
2. 機能ボタン左/右を押して、トリミングする静止画を選択し、
3. 「はい」を選択して、SET ボタンを押します。

4. ズームボタンと機能ボタン上/下、左/右を押して、トリミング範囲を調整します。

画像サイズが「640×480」以下の場合はトリミングできません。

回転して方向変更した画像はトリミングできません。

HDR

HDR機能では、撮影した画像の露出、コントラスト不足などにより発生した、画像ムラ、明暗を補正して最適な画像にします。

1. 再生モードでセットするには func menu ボタンを押し、HDR を選択し **SET** ボタンを押します。
2. 機能ボタン左/右を押して、「はい」を選択します。「取消」を選択すると、再生セットアップメニューに戻ります。

✓ : HDR

✗ : 取消

3. **SET** ボタンを押して設定を確定します。
4. HDR最適化した画像と変更前の元の画像は共にメモリーに保存されます。

赤目補正

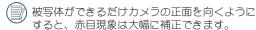
カメラには赤目補正の機能が搭載されています。人物撮影で赤目の現象が発生したときに赤目の部分を補正します。

1. 再生モードで、機能ボタン左/右を押して、赤目軽減する静止画を選択します。
2. (func menu) ボタンを押して、セットアップメニューから を 選択します。
3. SET ボタンを押し、「チェックの 」、「」を選択します。

：赤目軽減

：取消

4. SET ボタンを押して、設定を確定します。

被写体ができるだけカメラの正面を向くようにすると、赤目現象は大幅に補正できます。

動画画像は赤目補正ができません。

画像回転

選択した画像の方向（縦横位置）を設定します。

1. 再生モードで、機能ボタン左/右を押して、画像回転する静止画を選択します。
2. (func menu) ボタンを押して、セットアップメニューから を選択します。
3. SET ボタンを押し、「右回転の 」、「左回転の 」、「取消」を選択してします。

：右回転　：左回転　：取消

4. SET ボタンを押して、設定を確定します。

回転して変更した画像と変更前の元の画像は共にメモリーに保存されます。

パノラマ合成した画像を回転させることはできません。

動画ファイルは向きを回転させることができませ

画像サイズの変更

この設定により、画像を指定した解像度にサイズ変更し、それを新しい画像として保存することができます。

1. 再生モードで、サイズ変更が必要な写真を選択するには左/右ボタンを押してください。
2. func menu ボタンを押して を選択し SET ボタンをおして設定画面に入ります。
3. 左/右ボタンで解像度（1024x768又は640x480)を選択します。

4. SET ボタンを押して設定を確定します。

- サイズ変更した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。
- 元の画像サイズが、「640X480」より小さい場合は、サイズ変更することはできません。
- 回転して方向変更した画像はサイズ変更できません。
- パノラマ画像は、サイズ変更できません。

色の効果

この設定で画像の色の効果を変更することができます。変更された画像は新しい写真として、元の写真と一緒にメモリに保存されています。

1. 再生モードで左/右ボタンを使って色の効果処理する写真を選択します。
2. func menu ボタンを押して を選択し、SET ボタンでメニューを設定します。
3. 左/右ボタンでメニューを選択します。

- ：取消
- ：ビビッド
- ：セピア
- ：白黒

4. SET ボタンを押して設定を確定します。

スライドショー

この設定により、保存されているすべての画像をスライドショーとして表示できます。

1. 再生モードで、SET ボタンを押します。
2. 機能ボタン左/右を押して、「効果1」、「効果2」、「効果3」、「取消」を選択します。
3. SET ボタンを押して、スライドショーが開始します。

•効果1：間隔1秒

•効果2：間隔1秒

•効果3：間隔1秒

4. スライドショーを終了させるには、SET ボタンを押します。

カメラ設定メニュー

モードアイコン：M 📷 SCN

すべてのモードで func menu ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、 を選択し、SET ボタンを押します。次に機能ボタン上/下を押して、 を選択します。

設定を行なうには、次の手順でおこないます。

1. SET ボタンまたは右ボタンをおして設定メニューに入ります。
2. 機能ボタン右を押して、サブメニューに入ります。
3. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。機能ボタン左を押して、セットアップメニューに戻ることもできます。
4. SET ボタンを押して、設定を確定します。

操作音

電源オン/オフ時の操作音およびシャッター作動音を調整することができます。設定を行なうには、次の手順でおこないます。

1. 設定メニューから操作音を選択します。
2. 機能ボタン右を押して、サブメニューから、機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
   - オフ
   - トーン1
   - トーン2
   - トーン3

3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

トーンを変更することにより、電源/シャッター音が同時に切り替わります。

省電力

この設定により、電力を節約し、電池寿命を延ばすことができます。以下のステップに従って液晶画面をオフにすると、カメラは一定時間の後自動的に停止状態になります。

1. .設定メニューから省電力を選択します。
2. サブメニューには「自動」、「普通」、「最大」が表示されます。

3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

言語設定

14ページの「言語設定」を参照してください。

ワールドタイム

世界時間の設定は、海外旅行に役立ちます。この機能により、海外にいる間、液晶画面に現地時間を表示することができます。

1. 設定メニューからワールドタイムを選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、 自宅を選択し、機能ボタン左/右を押して、同じ時間帯の都市を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。
3. 機能ボタン上/下を押して、✈ 現地（訪問先）を選択し、機能ボタン左/右を押して、同じ時間帯の都市を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。都市をを設定するだけで時差は自動的に処理されます。

日時設定

15ページの「日時設定」を参照してください。

ファイル・ソフトウェア

フォーマット

⚠ フォーマット機能では、保護された画像を含め、メモリーカードとカメラの内蔵メモリーのすべてのデータを消去します。

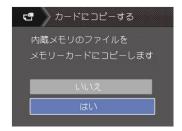
設定を変更するには、次の手順でおこないます。

1. 設定メニューからフォーマットを選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、「はい」または「いいえ」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

3. メモリーカード（メディア）も初期化されます。
4. メモリーカードがない場合、内蔵メモリーをフォーマットします。

カードへコピーする

この設定により、内蔵メモリーに保存された画像をメモリーカードにコピーします。

1. 設定メニューからコピーを選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、「はい」または「いいえ」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

カメラにメモリーカードを挿入しない場合は、「カードへコピーする」項目は表示されません。

ファイル番号

静止画または動画を記録した後、カメラはメモリーカードにファイルを自動的に保存します。保存するとき、数字が撮影した最後の画像から続くか、新たにカウンタを 1にリセットして、新しいフォルダに保存するかを決定することができます。
（メモリーカード内のファイルが9999を超えて、そして最後のファイルの写真が999枚を超えた場合、警告がメモリカードがいっぱいになっていることが示されます。）

1. 設定メニューからファイル番号を選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、「はい」または「いいえ」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

リセット設定

この設定により、カメラを出荷時の設定に戻します。

1. 設定メニューからリセットを選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、「はい」または「いいえ」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

FWバージョン

この設定により、現在のカメラのファームウェアバージョンの表示または更新します。

1. 設定メニューからFWバージョンを選択します。

2. 新ファームウェアバージョンをインストールした時は、画面に新バージョンが表示されます。
3. 画面に新ファームウェアバージョンが表示されたときは、「はい」または「取消」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

電池残量が少ない時は、ファームウェアを更新することはできません。

PCに接続する

撮影した画像をコンピューターに送信するためにUSBケーブルを使います。

USBモードを設定する

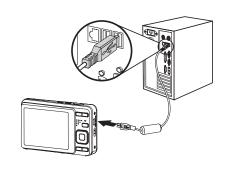
カメラのUSB端子は、PCまたはプリンターと接続ができます。次のステップにより、カメラをPCに接続して正しく設定ができていることを確認します。

1. (func menu) ボタン押して、セットアップメニューが表示されます。機能ボタン左/右を押して、転送メニューを選択し、機能ボタン上/下を押して、USB接続を選択します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、(絵) を選択し、SET ボタンを押します。
3. 機能のボタン上/下を押し、USBを選択し、機能ボタン右を押して、　サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、PCを選択します。
4. SET ボタンを押して、設定を確定します。

PCにファイルを転送する

コンピュータは、リムーバブルドライブとしてカメラを自動的に認識します。デスクトップのマイコンピュータアイコンをダブルクリックしてリムーバブルドライブを検索し、一般的なフォルダやファイルをコピーするPCのディレクトリにドライブのフォルダとファイルをコピーします。

USBケーブルを使用することによって、撮影した静止画と動画をPCに転送することができます。以下のステップに従って、PCにカメラを接続します。

1. カメラとPCがどちらもオンになっていることを確認します。
2. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのUSB/AV端子に接続します。
3. ケーブルの他の端をPCの空きUSB端子に接続します。

4. 転送が完了したらケーブルを取り外します。

USBオプションが[PC]に設定されている場合:

カメラをオフにしてUSBケーブルを抜く前に、以下で説明するように、システムからカメラを取り外します。

ウィンドウズ・オペレーティングシステム（ウィンドウズ2000、ウィンドウズXP、ウィンドウズ・ビスタ、ウィンドウズ7）

（ハードウェアーを安全に取り外す）アイコンをクリックし、現れたメニューにしたがってUSBコネクター（接続）を取り外します。

Macintosh

ごみ箱に無題のアイコンをドラッグします。("無題")

ビデオシステム

この設定を使用して、現在の地域のビデオシステムを選択します。

1. (func menu) ボタン押して、セットアップメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、転送メニューを選択し、機能ボタン上/下を押して、ビデオシステムを選択します。
2. 機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、「NTSC」あるいは「PAL」を選択します。
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

カメラは、地域によって2つの異なるビデオ出力信号「NTSC」または「PAL」に適応しています。

NTSC　：米国、カナダ、台湾、日本など。

PAL　：ヨーロッパ、アジア(台湾を除く)、オセアニアなど。

正しいビデオシステムが選択されていない場合、TV出力は正しく表示されません。

Eye-Fi SDカード接続モード

このカメラは、Eye - FiのSDカードの無線接続をサポートしています。以下の手順でインターネットに写真をアップロードすることができます。

1. (func menu) ボタンでEye - Fiをオンに設定してください。

2. この設定後に撮影された写真がインターネットにアップロードされます、詳細については、Eye - Fiカードの設定を参照してください。

PictBridge互換プリンターに接続する

PictBridgeにより、画像をデジタルカメラのメモリーカードからどのブランドのプリンターにも直接印刷できます。プリンターがPictBridge互換かどうかを調べるには、パッケージでPictBridgeロゴを探すか、マニュアルの仕様をチェックします。カメラにPictBridge機能が搭載されていることで、付属のUSBケーブルを使用してPictBridge互換プリンターで記録した画像を直接印刷することができます。PCは必要ありません。

USBモードを設定する

カメラのUSB端子は、PCまたはプリンターと接続ができます。次のステップにより、カメラをPCに接続して正しく設定がされていることを確認します。

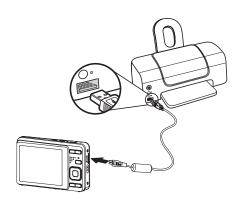
1. (func menu) ボタン押して、セットアップメニューが表示されます。機能ボタン左/右を押して、転送メニューを選択し、機能ボタン上/下を押して、USB接続を選択します。

2. SET/機能ボタンを押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、プリンターを選択します。

3. SET ボタンを押して設定を確定します。

カメラをリセットすると、USBモードからPC接続モードに自動的に切り替わります。

カメラとプリンターを接続する

1. カメラとプリンターがどちらもオンになっていることを確認します。
2. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのUSB端子に接続します。
3. ケーブルの他の端をプリンターのUSB端子に接続します。

カメラがPictBridge互換プリンターに接続されていない場合、液晶モニターに次のエラーメッセージが表示されます。

USBモードが正しく設定されていない場合も上のエラーメッセージが表示されます。その場合、USBケーブルを抜き、USBモード設定をチェックして、プリンターの電源がオンになっていることを確認してから、USBケーブルを再び接続します。

PictBridgeメニューを使用する

USBモードをプリンターに設定すると、5種類の DPSメニューが表示されます。

1.日付印刷

2.日付なし印刷

3.サムネイル画像を印刷する

4.DPOF画像を印刷しますか

5.戻る

機能ボタン上/下を押して、DSPメニューを選択します。

すべての設定の詳細については、次の項を参照してください。

日付印刷

カメラの日時設定を行なうと、撮影したすべての画像が日時付きで保存されます。日時付きで画像をプリントアウトするには、次の手順でおこないます。

1. DPSメニューで、「日付印刷」を選択します。次の画面が表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、日付印刷する画像を選択します。

3. 機能ボタン上/下を押して、選択した画像の印刷枚数を決定します。
4. SET ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

5. 「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。SET ボタンを押して、設定を確定します。

日付なし印刷

この設定により、日付を入れずに画像が印刷されます。

1. DPSメニューで、「日付なし印刷」を選択します。次の画面が表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、日付なし印刷する画像を選択します。
3. 機能ボタン上/下を押して、選択した画像の印刷枚数を決定します。
4. SET ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

5.「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。SET ボタンを押して、設定を確定します。

サムネイル画像を印刷する

この機能により、カメラのサムネイル画像の印刷ができます。

1. DPSメニューで、「サムネイル画像を印刷する」を選択します。次の画面が表示されます。

2.「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。SET ボタンを押して、設定を確定します。

DPOF画像の印刷

DPOF画像を印刷するには、前もってDPOF設定で画像を選択してください。（54ページのDPOFを参照してください。）

1. DPSメニューで、「DPOF画像を印刷しますか」を選択します。次の画面が表示されます。

2. 「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。SET ボタンを押して、設定を確定します。

USBケーブルを取り外す

DPSメニューを終了するには、「戻る」を選択します。「USB接続ケーブルを外します」メッセージが表示されます。

画面にこのメッセージが表示されると、カメラとプリンターからUSBケーブルを安全に取り外すことができます。

仕様:J1458

「外観と仕様の一部を将来予告なしに変更することがあります。」

カメラ部有効画素数		1414万画素
撮像素子		1/2.3型CCD (総画素数 1448万画素)
レンズ	焦点距離	5.1～25.5mm
	35mmフィルム換算	28～140mm
	開放F値	F3.9～F6.3
	レンズ構成	8群 8枚
	光学ズーム	5倍
	撮影範囲	通常撮影 (W) 60cm～∞ (T) 100cm ~ ∞ マクロ撮影 5cm～∞ (Wのみ
手ブレ補正		デジタル手ぶれ補正機構
デジタルズーム		6倍 (光学5倍と併用して最大30倍)
記録画素数 (画像サイズ)	静止画	14M、12M (3:2) 、10M (16:9) 、8M、5M、3M、2M、0.3M
	動画	640x480 (30fps、15fps) 、320x240 (30fps、15fps)

画質		精細画質、標準画質、普通画質
DCF、DPOF (Ver1.1)サポート		◯
ファイル形式	静止画	Exif 2.2 (JPEG)
	動画	画像圧縮: JPEG(AVI)、音声: G.711 [Monaural]
撮影モード		手動モード、自動モード、ブレ軽減モード、ポートレート、動画モード、パノラマモード、シーンモード [Auto SCN、風景、スポーツ、ビーチ、夕日、花火、夜景、雪、子供、IDカード、ガラス越し、フォトフレーム、流し撮り、資料、魚眼、パーティ、室内、植物、博物館、夜景ポートレート、スケッチ]
感知特徴		顔、笑顔、まばたき
赤目軽減		◯
HDR		◯
パノラマ	静止画	◯(水平)
	画角	0°~ 180°
液晶モニター		2.7インチ TFTカラー液晶モニター (230,400 ピクセル)
ISO感度		自動, ISO64/100/200/400/800/1600
AF方式		シングルAF、マルチAF, (TTL 9-点)、顔検出AF、AFアシストビーム(オン/オフ)

測光方式		人工知能AE（AiAE)、中央重点、スポット（フレームの中心に固定）、顔AE
露出制御方式		プログラムAE（AEロック可能)
露出補正		±2 EV(1/3ステップ刻み)
シャッター速度		4～1/2000秒 (手動30秒)
連写		○
再生モード		静止画、サムネイル（9/16）、スライドショー、動画、
		ズーム（約2倍～8倍）、音声、ヒストグラム表示
ホワイトバランス制御		自動、晴天、曇天、蛍光灯、蛍光灯 CWF、白熱電球、手動
フラッシュ	フラッシュ方式	内蔵
	フラッシュモード	自動発光/赤目軽減発光/強制発光/発光禁止/スローシンクロ/赤目軽減発光+スローシンクロ
	撮影範囲	(ワイド) 約. 0.3m ~ 3.9m (ISO800) (テレ) 約. 1.2m ~ 2.4m (ISO800)

記録メディア	内蔵メモリー: 8 MB
	SDカード/SDHCカードカード(32 GBまでサポート) [MMC カード不可]
その他の機能	PictBridge、Exif印刷サポート、多言語のサポート (25言語)
入出力端子	USB 2.0 (Micro 5 pin USB)/AV-OUT
電源	充電式 Li-ion電池 GB-12A, 3.7V 700mAh、本体充電
撮影性能 (電池性能)	約. 220 ショット (CIPAの標準による)
動作環境	温度：0～40°C 湿度：90%以下 (結露しないこと)
寸法(幅 × 高さ × 奥行き)	約 91.5×56.5×22.6mm
重量	約3.8oz. / 106g (本体のみ)

エラーメッセージ

メッセージ	説明
カードエラー	• メモリーカードの画像フォーマットを識別または読み込みできません。 • 新しいメモリーカードと交換するか、または本機でカードをフォーマットしてください。
メモリーカード残量なし	• メモリーカードがいっぱいで、新しい画像を保存できません。
ピクチャーエラー	• 画像が正しく記録されていません。 • 画像が損傷しています 。
ピクチャーなし	• メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像がありません。
レンズエラー	• レンズのつまり、引っ掛りにより、カメラの電源が自動的にオフになります。
システムエラー	• 予期せぬエラーが発生しました。
照準外です	• メモリーカードの書き込み保護スイッチが「ロック」位置にセットされています。 • パノラマモードで撮影しているとき、動きはきわめて遅くなり撮影は30秒で終了しません。

メッセージ	説明
メモリーカードがフォーマットされていません。フォーマットしますか?	• メモリーカードのフォーマットを確認してください。(フォーマットの詳細は 61 ページをご参照してください。)
画像を消去できません	• 消去しようとしている静止画や動画が書き込み保護されています。
警告 カメラ録画中。お待ちください。	• 動画/音声の録画中、他の操作は実行できません。
警告 バッテリーがありません	• 電池切れです。(単三形アルカリ電池) • 電池が充電切れです。(単三型Ni-MH電池)
ファイルを再生できません	• 画像 (メモリーカード) がカメラで認識できません。
接続なし	• カメラがプリンターに正しく接続されていません。
印刷エラー	• カメラがプリンターに正しく接続されていません。
印刷できません	• プリンターが用紙またはインク切れでないことを確認してください。 • プリンターの用紙が詰まっていないかどうか確認してください。

困ったときには

問題	考えられる原因	解決法
カメラがオンにならない。	・電池切れです。 ・電池が正しく挿入されていません。	・新しい電池に交換してください。 ・電池を充電するか、完全に充電されたものと交換してください。 ・電池のプラスとマイナスを確認しながら電池を挿入します。
操作中にカメラが突然オフになる。	・電池切れです。	・新しい電池に交換してください。 ・電池を充電するか、完全に充電されたものと交換してください。
写真がぼやける。	・レンズが汚れています。 ・手ブレ、被写体ブレになっています。	・柔らかい布を使用して、カメラのレンズを軽く拭いてください。 ・DIS 手ブレ補正を有効します。
静止画、動画ファイルを保存することができません。	・メモリーカードの残量がありません。	・メモリーカードを新しいものと交換してください。 ・不要な画像を消去してください。 ・メモリーカードのロックを解除してください。
シャッターボタンを押しても画像を撮影できない。	・メモリーカードの残量がありません。 ・ファイルを保存する空き容量がありません。 ・再生モードになっています。	・メモリーカードを新しいものと交換してください。 ・不要な画像を消去してください。 ・メモリーカードがロックされています。 ・モードボタンを押して、静止画撮影モードを選択します。
接続したプリンターから画像を印刷できない。	・カメラがプリンターに正しく接続されていません。 ・プリンターがPictBridge互換でありません。 ・プリンターが用紙またはインク切れです。 ・用紙詰まりです。	・カメラとプリンターの接続を確認してください。 ・PictBridge互換プリンターを使用してください。 ・プリンターに用紙を補給してください。 ・プリンターのインクカートリッジを交換してください。 ・詰まっている用紙を取り除いてください。

問題	考えられる原因	解決法
メモリーカードの書き込み速度が遅い	・クラス4以下のメモリーカードでHD以上の動画を記録する場合、書き込みスピードが遅くなって、記録できない可能性があります。	・SDHCカードを使用して、または、このメモリーカードをフォーマットしてください。
メモリーカードに書き込むことができません	・メモリーカードが書き込み保護されています。 ・静止画/動画を撮影するとき、メモリーカードの書き込みが中止（記録速度が遅すぎるなどの原因で）になって、撮影できなくなります。	・カードの書き込み保護スイッチをオフにしてください。 ・ハイクラスのメモリーカード（Class 4以上）に切り替えてください。

http://www.ge.com/digitalcameras

imagination at work

Printed in China

Follow us on @ GE Cameras | @ GECamera | @ gedigitalcameras